にのさかクリニック広報誌　発行月　2023年　2月

ひまわり

No.320号

医療法人
にのさかクリニック
福岡市早良区野芥4-19-34 FAX092-872-1137
TEL 092-872-1136
ホームページ http://www.drnino.jp/
ブログ https://ameblo.jp/ninosakaclinic/

チョコレートと、造花の花束

病院内なので造花です

2月といえば、バレンタインデーですね。この日にワクワクソワソワ、一喜一憂していたのはいつ頃までだったでしょうか・・・。
さて、5年ほど前、ある女性患者さんからチョコレートを頂いたことがありました。診療の際にはよ～くお話しされる、ユーモアのある人でした。当院とは長いお付き合いで、「院長先生(当時)も好きやけど、たけし先生もよか～」と言ってくれていました。
3月のホワイトデーの時期には、その患者さんはある病院に入院していたので、“お見舞い＋チョコレートのお返し”として、小さな花束を渡すことにしました。僕の顔を見て、そして花束のプレゼントに、とても喜んでくれました。
こんな風に、自分が診ていた患者さんを病院に紹介した場合、僕はその病院に様子を見に行くのが好きでした。その後の経過が気になるということもありますが、目的はもうひとつあります。病院に送ったら終わり、ではなく、在宅医が今後も継続して支えるという意思を示すことで、「また家に帰れるんだ」という希望を患者さんやご家族に持ってもらえるからです。また、病院側の医師やスタッフの方たちに対する「また家に帰してあげてほしい」というメッセージでもあります。アナログなやり方ですが、足を動かし、直接顔を見せることが、在宅医療の正しい理解浸透につながると信じています。コロナ禍の今は、こういう動きに大きな制限があるのでもどかしいですが・・・。
今は亡き冒頭の女性患者さんは、ホワイトデーから間もなく、無事に退院しました。その後再びご自宅に訪問したら、その小さな花束を枕元に飾ってくれていました。
バレンタインチョコにときめくことはほぼ(？)なくなりましたが、患者さん・ご家族とのこうした関わりにほっこり喜びを感じることは、おかげ様で増えています。仕事に対するワクワクも絶えません。
写真(下)は、数年前に妻からもらったチョコレートです。より一層の覚悟を持って、2023年も精進します。（院長 二ノ坂 建史）

にのさかクリニック
公式ブログ
Ameba

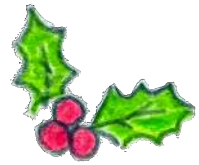
第8回 ひまわり健康教室

テーマ：糖尿病

在宅看護師 尾曲 奈美子

第8回のひまわり健康教室です。

今回は **「シックデイを知ろう」** です。
シックデイとは単純に「病気の日」という意味です。
糖尿病の患者さんが糖尿病以外の病気になった状態を言います。



（イラストおまがり）

人は風邪をひいたり、体調を崩したりすると生理的な反応として血糖値が上がります。
糖尿病の人の場合は、軽い病気でも血糖が急に上昇するなど、
血糖コントロールが普段より難しくなるので注意が必要です。

これは自然の
経過です

この時は是非覚えていてほしいことがあります。

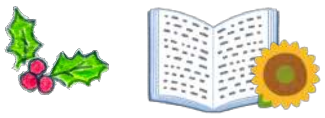
①軽い風邪の際は1～2日自宅で安静に過ごし、保温や十分な水分補給を心がけましょう。
②食欲がない場合に消化しやすいものを摂取しましょう。
（おかゆ・うどんなど）
③体調不良の際は早めに医師へ相談し、必要なら受診しましょう。
④糖尿病薬やインスリンは自己判断で中止しないようにしましょう。

こんな状態の時は注意が必要です。

・全く食事が摂れない。
・6時間以上も下痢や嘔吐が続く。
・お腹の痛み、胸の痛み、呼吸が苦しいという症状がある。
・38℃以上の熱が続く。
・症状の改善がみられない。

どの方も病気というだけで不安になると思います。
食べられないというだけで薬・インスリン注射を自己判断で中止するのは、危険なこともあります。
とにかく１人で悩まず、どうしたらいいか分からない時は相談してくださいね。

昨年4月よりひまわり健康教室として紙面でお伝えしてきました糖尿病の連載は今月をもちまして終了となります。
どうだったでしょうか。日々の健康づくりへの意識付けになっていたらいいなと思います。
読んでいただきありがとうございました。



「在宅ホスピスフェスタ2023」が開催決定！！

アクロス福岡（WEB配信あり）

在宅療養・在宅ホスピスについて、多くの方に知っていただくためのイベント「在宅ホスピスフェスタ2023」開催のご案内です。会場は、アクロス福岡4階国際会議場です。感染症対策のため、会場参加は人数制限を行い、WEBでも同時配信します。みなさまのご参加お待ちしています。

3月19日(日) 10:30 ～16:30 ※参加費無料
「最期までいきいき生きろうや ～今、縁と援のある暮らし～」

午前の部 10:30～12:30

・オープニングコンサート
　演奏：山の音楽家シャナ

・ミニ講座
　①在宅ホスピスと訪問入浴
　②在宅ホスピスに関わるケアマネジャーの役割

午後の部 13:30～16:00

・在宅ホスピスを語る会in福岡
　①どうしてできた？一人暮らしの在宅ホスピス
　～全介助が必要であっても家で過ごしたい思いに寄り添って～
　②介護サービスを利用してできた家での看取り

会場では、他にも世界のホスピス活動や在宅ボランティアに関するポスター展示をはじめ、医療機器・介護用品の展示、セラピューティックケアの体験や在宅ホスピスの相談コーナーなどが企画されています。

Web参加をご希望の方は事前にホームページからお申し込みください ➡

小さなたねだより

今月からスタート

小さなたね看護師 小泉 浩子

　クリニックの隣にある地域生活ケアセンター小さなたねをご存知でしょうか？障がいをもった子どもたちや成人期の方々が日中利用されている、にのさかクリニックの施設です。
　今年（令和5年）からこの紙面で、少しずつ小さなたねのことをお知らせすることになりました。
　こんな場所なのか！こんな事をやっているのか！など地域で共に暮らす彼・彼女たちの様々な表情や様子を感じでいただけると嬉しいです。

地域生活ケアセンター
小さなたね

みんなで書いた年賀状

カルタも楽しみました！

Event 催し物・イベントのご案内

クリニックからのお願い

新型コロナウイルス感染症対策
～発熱時の受診について～

発熱もしくは風邪症状のある方は
お車の中で待機していただくか
こちらが指定した時間に
受診していただくことで
発熱や風邪症状のある方との接触を
できる限り避けるようにしています

発熱または風邪症状のある方は
まずはお電話にてご相談ください
受診できる時間や受診する方法について
ご案内いたします

にのさかクリニック
☎ 092-872-1136

症状や経過によっては、
他の医療機関へ受診をお願いする場合があります

定期の受診、その他の症状で受診される方は
できるだけ12時までの受診をおすすめします

皆様のご理解とご協力をお願いいたします

集 3月19日（日）

在宅ホスピスフェスタ2023
WEBでも同時配信

最期までいきいき生きろうや
～今、縁と援のある暮らし～

在宅療養・在宅ホスピスについて、まるごと知っていただける在宅ホスピスフェスタ開催のご案内です。当院や小さなたねもポスター展示に参加します。
詳しい内容は3面をご覧ください。

●日 時：3月19日（日）10:30～16:30
●場 所：アクロス福岡 4階国際会議場
福岡市中央区天神1-1-1
●お問合せ：
NPO法人緩和ケア支援センターコミュニティ
（TEL092-834-6741）
福岡県、ふくおか在宅ホスピスをすすめる会 主催

当院のホームページをリニューアルしましたので、是非ご覧ください。

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
9:00	午前	外来診療		訪問診療	外来診療		
13:00		昼休み	健康教室		昼休み		休診
14:00	午後	訪問診療			訪問診療		
17～18:00		※外来診療			※外来診療		

※ 午後5：00～6：00の外来診療は、訪問診療の都合により診療開始時間が遅れる場合や診療ができないことがございます。診察をご希望の方は、事前にお電話いただけると幸いです。